

平成21年6月期 第1四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社 自重堂
 コード番号 3597 URL <http://www.iichodo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部部長 (氏名) 谷口 郁志
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 東

TEL 0847-51-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第1四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月期第1四半期	4,464	—	293	—	2	—	△26	—
20年6月期第1四半期	4,668	△8.7	320	△12.3	465	△8.2	265	△8.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年6月期第1四半期	△1.57	—
20年6月期第1四半期	15.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
21年6月期第1四半期	31,060	—	22,754	—	73.3	1,350.23
20年6月期	31,972	—	23,734	—	74.2	1,408.20

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 22,754百万円 20年6月期 23,734百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年6月期	—	0.00	—	35.00	35.00
21年6月期	—	—	—	—	—
21年6月期(予想)	—	0.00	—	35.00	35.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,300	△7.5	1,000	△17.0	△450	—	△270	—	△16.02
通期	20,600	△7.0	1,800	△22.6	400	△52.7	240	△58.7	14.24

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名 —) 除外 — 社(社名 —)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 17,653,506株 20年6月期 17,653,506株

② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 800,922株 20年6月期 799,146株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第1四半期 16,854,327株 20年6月期第1四半期 17,369,508株

※1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する金融不安の影響などにより企業マインドは悪化し、設備投資も減少傾向で推移し、また、ガソリンや食料品などの一般消費財の値上がりにより個人消費は冷え込み、全般的に非常に厳しい状況で推移いたしました。さらに平成20年9月末には、米国の大手金融機関の破綻により、急激に円高が進行し、株価も大幅に下落するなど、今後、実体経済への影響拡大が懸念されます。

このような状況のもと当社グループは、ユニフォーム部門におきましては、「安全」「快適」「環境」「安心」をテーマとして、エンドユーザーのニーズにマッチした新商品の開発に努力してまいりました。平成20年6月には、ワーキングユニフォームメーカーとしては日本初の産業廃棄物の広域認定を取得しました。全国から使用済みユニフォームを回収、リサイクルすることにより、CO2排出量を削減し、企業価値・ブランドイメージ・消費者からの信頼向上を図っております。また、カジュアルテイストのユニフォームとして、「JAPAN(日本)」「WIN(勝利)」という意味を込めた新ブランド「JAWIN(ジャウイン)」の展開を引き続き強化し、販促キャンペーンによる新たな需要の喚起に努めました。平成17年1月に販売を開始したセーフティスニーカーは、新商品の開発・展開を強化し、新たな営業の柱として、引き続き順調に売上を伸ばしております。医療用白衣においては、ユーザーのニーズにマッチした新商品の開発や、新規取引先の開拓を積極的に進めるとともに、既存取引先との取り組み強化を図るなど、当社医療用白衣「WHISel(ホワイセル)」ブランドの知名度向上と、売上の拡大に努力してまいりました。

メンズ部門におきましては、品質・コスト・付加価値の追求により、市場のニーズに対応した商品の提供に努力してまいりました。また、流通チャネルの変化に対応するため、新規流通ルートの開拓の強化を図るとともに、既存取引先との取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は4,464百万円となりました。利益面におきましては、売上総利益率は前年並みとなったものの、売上高の減少により、営業利益は293百万円となりました。経常利益につきましては、急激な円高の進行により、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っておりますクーポンスワップ取引に係る時価評価等によりデリバティブ評価損393百万円を計上したことにより、2百万円となりました。四半期純損失は26百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ912百万円減少し、31,060百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ225百万円減少し、17,921百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,014百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が1,257百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ687百万円減少し、13,138百万円となりました。これは主に投資有価証券が評価替えにより794百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度に比べ124百万円減少し、6,396百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が151百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ191百万円増加し、1,909百万円となりました。これは主に固定負債のその他が199百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ979百万円減少し、22,754百万円となりました。これは主に利益剰余金が616百万円減少したことなどによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度より 1,014 百万円増加し、6,290 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は 1,427 百万円となりました。これは主に、デリバティブ評価損 393 百万円、売上債権の減少 1,257 百万円等による増加と、賞与引当金の減少 101 百万円、仕入債務の減少 151 百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は 106 百万円となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入 119 百万円等による増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は 553 百万円となりました。これは主に、配当金の支払額 552 百万円等による減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の景気動向は、金融不安の実体経済への影響が懸念され、企業の設備投資、消費者の購買態度は一層慎重になることが予想されます。こうしたことから、今後の売上高は前回予想を大幅に下回らざるを得ないと考えております。また、各利益においても売上高の減少の影響と、為替は引き続き円高傾向で推移することが見込まれることから、前回予想を下回る見込みであります。

この結果、第 2 四半期連結累計期間の売上高につきましては、前回の予想を 700 百万円下回り、10,300 百万円となる予定です。損益面につきましては、営業利益は前回予想から変更なく、経常利益については、円の急騰を受けて対米ドルの想定為替レートの見直しを行ったことなどにより、デリバティブ評価損の計上等を見込み、前回の予想を 1,550 百万円下回る△450 百万円となる予定です。四半期純利益は、前回の予想を 920 百万円下回る△270 百万円となる予定です。

通期の予想につきましては、売上高は前回の予想を 1,400 百万円下回る 20,600 百万円、営業利益は前回予想を 200 百万円下回る 1,800 百万円となる予定です。経常利益は、デリバティブ評価損の計上等を見込み、前回の予想を 1,800 百万円下回る 400 百万円、当期純利益は、前回の予想 1,060 百万円下回る 240 百万円となる予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の売買目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ 5 百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は 5 百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,312,371	5,297,834
受取手形及び売掛金	5,665,067	6,922,613
有価証券	102,526	118,299
商品及び製品	4,780,152	4,624,210
仕掛品	85,394	139,184
原材料及び貯蔵品	148,627	170,584
繰延税金資産	43,978	70,646
未収還付法人税等	490,211	492,223
その他	298,315	326,160
貸倒引当金	△4,966	△14,831
流動資産合計	17,921,679	18,146,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,943,652	2,989,302
土地	3,909,910	3,909,910
建設仮勘定	799	799
その他（純額）	184,257	189,728
有形固定資産合計	7,038,620	7,089,741
無形固定資産		
無形固定資産	34,214	37,646
投資その他の資産		
投資有価証券	4,736,334	5,531,169
繰延税金資産	690,667	387,920
その他	758,552	865,160
貸倒引当金	△119,544	△85,616
投資その他の資産合計	6,066,010	6,698,634
固定資産合計	13,138,845	13,826,023
資産合計	31,060,525	31,972,949

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,444,897	5,596,217
未払金	508,692	393,440
未払法人税等	566	2,422
返品調整引当金	58,841	71,311
賞与引当金	130,783	232,639
その他	252,354	224,409
流動負債合計	6,396,135	6,520,440
固定負債		
退職給付引当金	371,493	380,222
その他	1,538,028	1,338,038
固定負債合計	1,909,521	1,718,261
負債合計	8,305,656	8,238,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,680	1,827,723
利益剰余金	18,543,852	19,160,181
自己株式	△736,112	△734,817
株主資本合計	22,617,919	23,235,588
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	136,948	491,577
繰延ヘッジ損益	—	7,081
評価・換算差額等合計	136,948	498,659
純資産合計	22,754,868	23,734,247
負債純資産合計	31,060,525	31,972,949

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	4,464,692
売上原価	3,209,403
売上総利益	1,255,288
販売費及び一般管理費	961,340
営業利益	293,948
営業外収益	
受取利息及び配当金	19,033
受取賃貸料	40,883
為替差益	33,717
その他	22,688
営業外収益合計	116,323
営業外費用	
賃貸収入原価	13,882
デリバティブ評価損	393,097
その他	412
営業外費用合計	407,393
経常利益	2,877
特別損失	
投資有価証券評価損	22,510
貸倒引当金繰入額	22,270
特別損失合計	44,781
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,903
法人税、住民税及び事業税	15,740
法人税等調整額	△31,216
法人税等合計	△15,476
四半期純損失(△)	△26,426

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△41,903
減価償却費	57,707
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,062
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△101,855
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△12,470
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,729
受取利息及び受取配当金	△19,033
投資有価証券評価損益 (△は益)	22,510
デリバティブ評価損益 (△は益)	393,097
売上債権の増減額 (△は増加)	1,257,545
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△80,194
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,320
その他	90,691
小計	1,430,108
利息及び配当金の受取額	19,080
法人税等の支払額	△21,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,427,427
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,480
定期預金の払戻による収入	7,480
有形固定資産の取得による支出	△2,687
無形固定資産の取得による支出	△260
投資有価証券の取得による支出	△5,275
投資有価証券の償還による収入	119,959
その他	△4,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,975
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△1,719
自己株式の売却による収入	381
配当金の支払額	△552,244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,717
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,014,536
現金及び現金同等物の期首残高	5,276,154
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,290,691

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)において、当社及び連結子会社は衣料品製造販売を事業内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、記載を省略しております。また、本邦以外の国又は地域に所属する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)において、海外売上高は連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年6月期 第1四半期)
	金額 (千円)
I 売上高	4,668,086
II 売上原価	3,343,435
売上総利益	1,324,651
III 販売費及び一般管理費	1,003,949
営業利益	320,702
IV 営業外収益	
1. 受取利息及び配当金	50,583
2. 有価証券売却益	1,724
3. 受取賃貸料	44,185
4. 為替差益	48,732
5. その他	12,820
営業外収益合計	158,046
V 営業外費用	
1. 支払利息	23
2. 賃貸収入原価	12,900
3. その他	32
営業外費用合計	12,955
経常利益	465,792
VI 特別利益	
1. その他	566
特別利益合計	566
税金等調整前四半期純利益	466,358
法人税、住民税及び事業税	103,343
法人税等調整額	99,736
少数株主損失	2,516
四半期純利益	265,795

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年 6 月期 第 1 四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	466,358
減価償却費	62,330
貸倒引当金の増減 (△) 額	5,361
賞与引当金の増減 (△) 額	△175,757
返品調整引当金の増減 (△) 額	△15,285
退職給付引当金の増減 (△) 額	△10,234
受取利息及び受取配当金	△50,583
支払利息	23
有価証券売却益	△1,724
売上債権の増 (△) 減額	1,147,606
棚卸資産の増 (△) 減額	△465,862
仕入債務の増減 (△) 額	112,697
役員賞与の支払額	△150,000
その他	237,264
小計	1,162,196
利息及び配当金の受取額	50,963
利息の支払額	△23
法人税等の支払額	△1,124,329
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,808
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△34,513
定期預金の払戻による収入	34,513
有形固定資産の取得による支出	△4,643
投資有価証券の取得による支出	△278,983
投資有価証券の売却による収入	372,155
その他	△4,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,729
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△3,865
配当金の支払額	△565,419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569,285
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	42,902
V 現金及び現金同等物の増減 (△) 額	△353,844
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,032,909
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,679,064